Agilent Technologies Group Profile

アジレント・テクノロジー グループ案内

Agilent Technologies

科学技術に欠かすことができないアジレントの計測ソリューション

計測は、社会生活を支えるテクノロジーです。例えば時計や定規が万人に共通の「基準」を提供し、拡大鏡によって見えなかった物事の原理や仕組みが解明できたように、計測テクノロジーこそ、古今東西あらゆる技術進化の源泉として、社会の発展を支えてきました。その頂点に立つのが、世界最大の計測機器メーカー、アジレント・テクノロジーです。アジレントは1939年、HP（ヒューレット・パッカード）として設立。以来、約70年一貫して計測分野を手がけ、その時代その時代の最先端テクノロジー企業と一体になって、科学技術の発展に寄与してきました。

アジレントは今、電気・通信分野の計測とバイオおよび化学の計測・分析という、発展著しい2つの分野にフォーカスしています。デジタル家電、携帯電話、インターネットといった先端分野、そして食物や水や空気、さらには医療や薬品といった健康な暮らしを支える分野まで、アジレントの計測テクノロジーは人々の暮らしのすぐ近くで、素晴らしい明日を作り続けています。

世界トップを走るアジレントの計測ツール

- 汎用計測器
- 有線および無線通信計測
- 半導体パラメトリックおよび部品計測
- 液体およびガスクロマトグラフ
- ICP-MS（誘導結合プラズマ質量分析装置）

Agilentは、agile（機敏、調和がとれている、頭の回転が早い、機知に富んでいるの意）からつくられた造語です。
ロゴマークはSpark of Insightと呼ばれ「叡知のひらめき」を表しています。

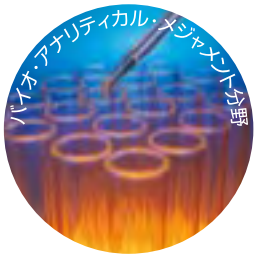
Measurement Company

世界最大の総合計測器メーカー、アジレント・テクノロジー

“Measured by Agilent” ― 世界スタンダードの証、最上の証

計測の役割は、①社会インフラとしての基準やスタンダードの提供、②誰もが、いつでも、どんな環境でも同じ数値を得られること、③見えない現象を“可視化”することによって、原理・構造・動作を解明可能にすることです。
そのため計測は、技術を支える技術ーマザーテクノロジーと呼ばれるのです。アジレントが掲げる“Premier Measurement Company”は、最上級の計測ソリューションの提供と、多様なニーズに応える最上級のサービスやお客様対応など、あらゆる面でNo.1であるという約束を示したものです。
アジレントのユーザーは世界中にくまなく広がり、新製品開発、生産、保守、検査、研究者、学生など多岐にわたります。そんなお客様からの期待に応えるために、アジレントは超先端ツールから、正確に、早く、安く、見やすくといったニーズに応えるツールまで幅広く品揃えし、その全分野で最大限の信頼をいただいています。
“Measured by Agilent” ーアジレントのツールで計測した結果は、世界中で最も信頼のおける結果ということなのです。

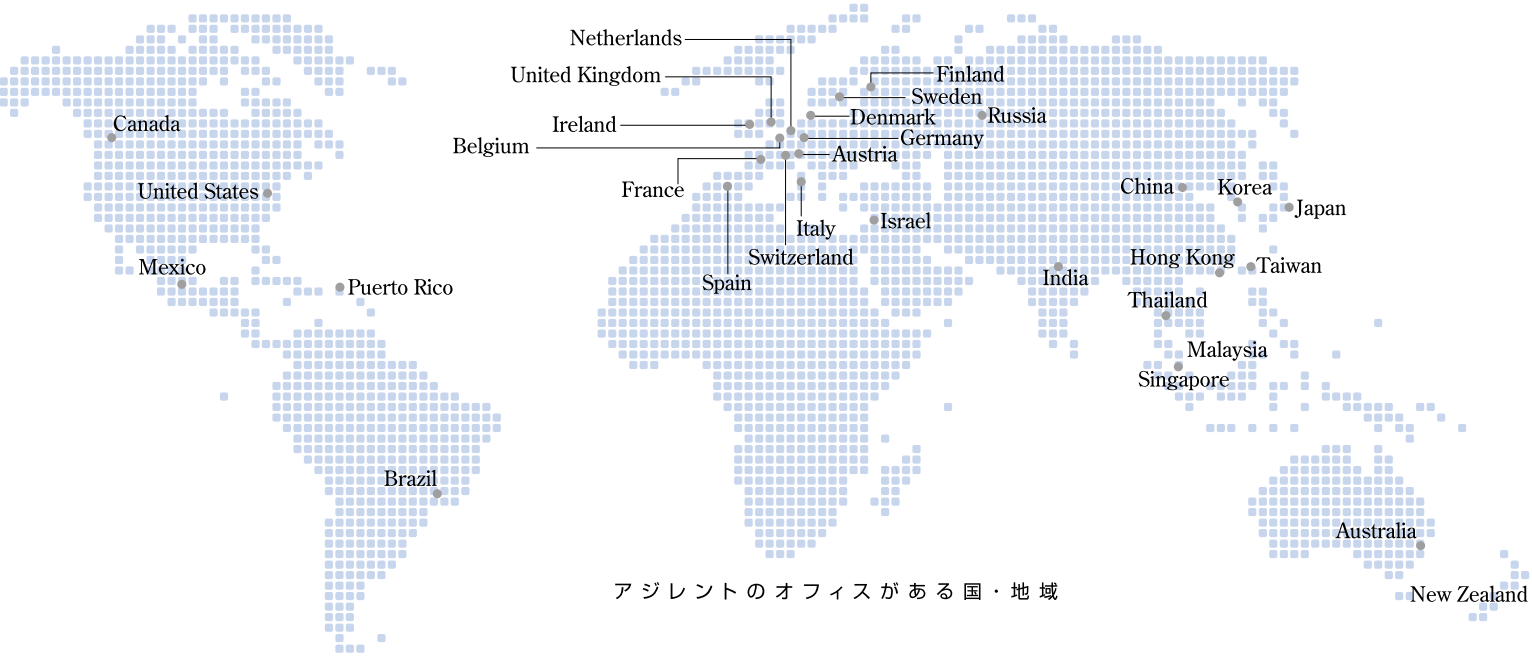
アジレント・テクノロジーの事業分野



“Agilent”は世界共通語
国境を越えたビジネスを展開

アジレントは世界最大の計測器メーカーとして、全世界に約2万人の従業員を擁し、計測器の開発や販売を通して、世界110の国や地域のトップ企業とビジネスを展開しています。およそ70年にもおよぶ長い歴史と幅広い分野における確かな実績から信頼も厚く、そのため国家プロジェクト、あるいは世界規模のプロジェクトにパートナーとして選ばれています。新たな国際規格を定めるとき、未知の世界に挑戦するとき、アジレントの存在は欠かすことができません。

また世界に展開するアジレントは、その信頼への責務として全世界で全く同じ内容と品質のサポートをユーザーに提供することを約束しています。なぜなら世界のどのユーザーであろうと、標準となる数値や性能はまったく同じでなくてはならないからです。家電や通信などの分野でメーカーの体制はグローバル化し、設計、製造、販売を世界で分散して行うことが普通です。そんなグローバルな時代こそ、世界中で均質なサービスを提供するアジレントが絶大な信頼を集めるのです。



アジレントのオフィスがある国・地域

“アジレント”は
日本の企業として既に40年

世界でプレミアであると同時に、実際にビジネスを展開するローカルマーケットでもNo.1＝プレミアでありたい。それがアジレントの基本姿勢です。1963年に、日本市場に本格参入することを目的としてアジレントの前身である横河・ヒューレット・パッカード（YHP）を設立以来、40年以上にわたり、日本市場に密着し、技術立国ニッポンを力強く支えてきました。

日本は、巨大市場であると同時に、通信、デジタル家電、自動車など高付加価値な技術と品質で、世界をリードしています。アジレントは日本市場にあって、単に計測器の販売にとどまらず、マーケティング、開発、試作といったメーカーの全機能を日本に設け、日本のお客様へ製品やサービス提供を通じて、新製品開発に貢献してきました。

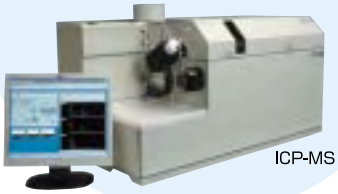
また開発拠点として電子部品計測器、ネットワーク・アナライザ、半導体パラメトリック・テストシステム、FPDアレイ・テストシステム、質量分析装置など、世界トップクラスの製品を数多く生み出しています。日本のアジレントは、日本を支え、世界を支える重要な部門なのです。

世界をリードする日本の開発部門

[半導体パラメトリックテスト事業部]
世界80%のシェアを占める半導体ウェハ試験装置を開発。300mmウェハや微細プロセスなど半導体技術をリードするほか、薄型ディスプレイのテスト分野も展開。

半導体パラメトリックテスタ

[化学分析事業部]
微量金属の正確な成分分析に欠かせないICP-MS（誘導結合プラズマ質量分析装置）の開発拠点。現在世界約70カ国以上で使われている世界No.1製品です。



ICP-MS

[電子部品計測事業部]
電子部品やモジュールの性能を正確に計測し、デジタル家電や携帯電話などあらゆる電子機器の構成要素評価に不可欠な、回路網およびインピーダンス測定器開発の世界中枢です。

ネットワーク・アナライザ

※電子部品計測事業部、半導体パラメトリックテスト事業部、化学分析事業部は、アジレント・テクノロジー・インターナショナルの組織です。

Electronic Measurement

——電気信号の驚異に迫る——

アジレントの“計測の目”を通じて見た電気信号です。微小な電流や、高周波信号、光などの計測ソリューションを通じてアジレントはエレクトロニクスやコミュニケーションの未来に貢献します。

ものづくりに欠かせない、世界最高の電子計測ソリューション

エレクトロニクスの進化に貢献する広範な計測ツール

近年、デジタル情報家電、スマートフォン、インテリジェントな自動車など、エレクトロニクスとコミュニケーションの進化は、人の暮らしを飛躍的に向上させました。新製品・新技術が実現にいたるには多くのチャレンジやステップが存在します。アジレントは、これまで計測できなかった超微小な電気、超高速な信号、無線電波などを高信頼に計測するテクノロジーをタイムリーに提供して、新製品の開発に貢献しています。また、設計／デザイン、試作、試作評価、製造、品質評価、保守／サービスなど、あらゆるステップでアジレントの計測ツールが活躍しています。

半導体・部品・ナノテクを測る

あらゆる機器の内部で活躍する半導体や電子部品の性能向上が、エレクトロニクスの今後の進化を担います。アジレントは、半導体ウェハを検査するパラメトリック・テスタや、電子部品の開発・製造に欠かせないLCRメータやネットワーク・アナライザなど、多様な半導体・電子部品用測定ツールにより、エレクトロニクスの進化の舞台裏で活躍しています。高性能化・高集積化が著しく進んでいる半導体分野では、アジレントのパラメトリック・テスタが事実上の業界標準として300mmウェハに対応するとともに、90ナノから65ナノプロセスへの移行にもいち早く対応、さらには、次世代の45ナノプロセスなど、次世代半導体テクノロジーをしっかり見すえています。また、ナノテク分野の研究者向けに原子間力顕微鏡も提供。「ナノテクノロジーの目」として、ナノメーター単位の材料の形状や特性を測定するため活躍しています。

デジタル家電を測る

家電の姿は情報化とともに急速に変わり続けています。例えばテレビ関連機器では、高精細化・大画面化がいっそう加速するとともに、地上デジタルテレビ、インターネットによる動画配信、ハイビジョン録画、有線・無線のネットワーク機能など今後搭載される機能は目白押し。こうした機能の基本となるのが、ギガビットクラスの高速デジタル信号です。微小で繊細な高速デジタル信号のふるまいを、アジレントは確かな計測の目で見つめます。アジレントはオシロスコープなど、高速デジタル信号用の計測ツールを幅広く揃え、USB2.0やDVI/HDMI、PCI Expressといった世界標準の高速デジタルインタフェースで発生するさまざまな課題に対し、的確なソリューションの提供を通じて、お客様の製品の早期開発に貢献します。

携帯電話・無線LANを測る

本格的なユビキタス時代の到来を迎え、携帯電話は多様な機能を搭載したIPスマートフォンへと進化し、ポータブル機器に高速の無線LANが標準搭載されます。こうした無線信号は、繊細な上に空中を飛来するため制御は難問です。アジレントは、信号を擬似的につくる信号発生器、信号解析に使用するスペクトラム・アナライザなど業界を代表する計測ツールによって無線信号のふるまいを可視化し、早期の製品開発に貢献します。例えば今日、全世界で出荷される携帯電話の約70%が、アジレントの測定機器で検査され、市場に提供されるなど、圧倒的な実績も有しています。また機器の早期開発だけでなく、通信インフラの設置を効率化するツールの提供など、総合的なワイヤレス通信ソリューションを通じ、機器からインフラまで早期のサービス開始にトータルに貢献しています。

光通信を測る

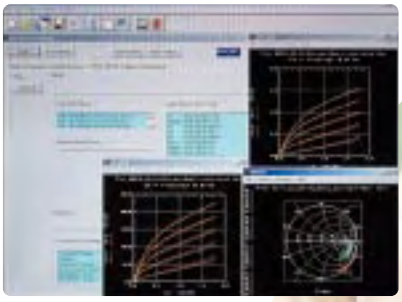
光通信はいまやネットワーク社会のバックボーンであるとともに、企業や家庭にデータ、動画、音声などさまざまなサービスを供給し、しかも絶え間なくブロードバンド化が求められている分野です。アジレントはレーザー光源や正確な測定が可能な次世代用の光通信用コンポーネントの計測ツールをラインアップして、未踏の光の領域にチャレンジ。お客様の製品の市場投入までの時間短縮や、テストコストの低減を通じて、次世代の光通信用コンポーネントの誕生に寄与します。さらに光ネットワークの伝送テストツール、工事施行用、保守用の計測ツールまで幅広くラインアップ。トータルなオプティカル計測ソリューションによってインテリジェントな光ネットワーク社会の進展に貢献しているのです。

インターネットを測る

アジレントの計測対象は、電気や光などの物理現象だけではありません。IPをベースにデータ、音声、さらには映像サービスまでを提供する「トリプルプレイ」と呼ばれる通信サービスが提供され始めた今日、IPネットワークの信頼性だけでなく、サービスそのものの品質やパフォーマンスを事前に確認することが必須となっています。アジレントの提供するプロトコル測定ソリューションは、キャリアグレードのIPネットワークインフラのパフォーマンステスト/エミュレーション、最先端のサービス品質やパフォーマンステストを可能とし、高品質なサービス提供とネットワーク運用コスト削減を実現するものです。

つくる前に測る

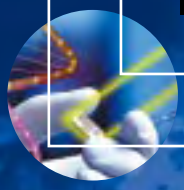
製品開発において時間とコストが最優先とされる今日、試作品をつくってから計測する伝統的なプロセスは、コストと時間の無駄遣いです。アジレントは効率的な通信機器や高周波デバイス設計のために、高周波回路、システムのデザインソフトウェアを中心にしたソリューションを提供しています。デザイン、モデリング、シミュレーション、実際に組み立てた時の設計の検証までを行う幅広いツール群は、高周波設計や高周波測定を自ら行ってきたアジレントのノウハウから生まれた確かなソリューションです。いわば実際につくる前に、計測し、最適化する。無駄なコストを省き、お客様の設計精度向上、開発期間短縮に貢献しています。

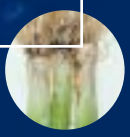


Bio-Analytical Measurement

——生命と物質の神秘を探る——

ライフサイエンスと化学分析の計測テクノロジーの追究を通じて、人々の健康で安心な暮らしに貢献します。





医療技術の進歩、新薬の開発、安全な環境の実現 すべてアジレントの仕事です

健康と安心は、あらゆる社会生活の基本です。アジレントのバイオ・アナリティカル・メジャメント部門はPPT（1兆分の1）レベルの微量の成分を検出するテクノロジーをベースに、2つの事業領域でQuality Life＝人々の幸福な暮らしを守っています。ひとつは生命活動のメカニズムを解明し、医療や製薬の発展に貢献するライフサイエンス分野。もうひとつは大気、水質、農作物、食品など、私たちを取り巻くものが本当に安心なのかを計測する化学分析分野です。

人の生命や健康に密接に関わる分野であることから、アジレントは計測ツールの性能や精度を向上して、これまで検出できなかったもの、見えなかったものを計測可能にすると同時に、より低価格で誰でも、どこでも、同じデータが得られる計測ソリューションを提供しています。

アジレントはアメリカ、ドイツ、日本、中国の拠点で研究開発を進めています。日本では、水質分析や半導体製造などの分野で超微量の成分を測定するICP-MS（誘導結合プラズマ質量分析装置）の開発・販売・サポートを手がけ、世界約70カ国へ提供しています。このように世界の最先端技術動向を把握しながら、国内の規制やニーズに応えた製品やソリューションを提供可能な点が、外資系企業にも国内企業にもないアジレント独自の強みです。また優れた計測テクノロジーだけでなく、修理・故障への迅速なサポート、新たなチャレンジへの技術コンサルティングなど、サービスやサポートもお客様にとって重要な要素です。アジレントは国内のお客様と密接な関係を築きあげ、世界トップの計測器を、世界最先端のソリューションと最高のサポートとともにお客様に提供することを通じ、安心して暮らせる社会に貢献しているのです。

生命を測る

人々を病気から解放する競争を支えています

ゲノム解読などに代表されるバイオテクノロジーの急速な発展により、生命活動のメカニズムや病気が起きるメカニズムが次々と明らかになり、そのおかげで効果的な治療法や画期的な新薬が誕生しています。その舞台裏では熾烈な研究・開発レースが繰り広げられています。アジレントは高精度で再現性の高い計測・解析ソリューションの提供を通じ、スピーディーな新薬開発を支援しています。

アジレントのライフサイエンス計測分野への進出は、核酸（DNA、RNA）やタンパク質の分離や解析を全自動で行うバイオアナライザに始まります。そして今日、スキャナ、マイクロアレイといったキーテクノロジーをはじめ、周辺機器を含めた完全なソリューションに拡大しています。その開発の基本思想は、新たな発見をもたらす計測ツール、再現性と安定性を重視した高信頼性なシステム、スピードと効率を重視した経済的なシステムです。なかでもマイクロアレイ（DNAチップ）分野では同時に多数の解析を可能にする高密度化を進め、ガン治療薬開発に大きな貢献を果たすとともに世界トップの地位を確立しています。

ライフサイエンスの急速な進歩のなか、アジレントはプロテオミクス、メタボロミクス、バイオインフォマティクスなど、“ポストゲノム”時代に対応し、計測・解析手法のソリューションをいちはやく提供。これまで治療が難しかった病気からの解放を通じ、人々の幸せな暮らしに貢献しています。

DNAマイクロアレイスキャナ

バイオアナライザ

安全と安心を測る

プールに落とした1滴を検出するテクノロジー

きれいな空気、おいしい水、安全な農作物など、健康や環境への意識が世界規模で高まり続けるなか、規制は年々厳しくなりつつあります。アジレントは30年におよぶ分析機器の経験をベースに、超微量な成分を検出する化学分析ソリューションで世界をリードしています。その用途は実に広範囲で、大気、水質、土壌などの環境をはじめ、農業、食品、薬品、半導体、石油化学など、あらゆる産業で必要とされています。また特殊用途としては、法医学や科学捜査、あるいはオリンピックのドーピング検査などでも確かな実績を残しています。近年、安全基準の厳格化を受け、あらゆる分野でこれまで以上に微量な成分を高精度に検出しなくてはなりません。アジレントはPPT（1兆分の1）レベルの成分を検知するテクノロジーを持ち、分析機器分野でトップを走っています。これはプール一杯の水に一滴落とした成分を正確に安定して検出できる能力です。

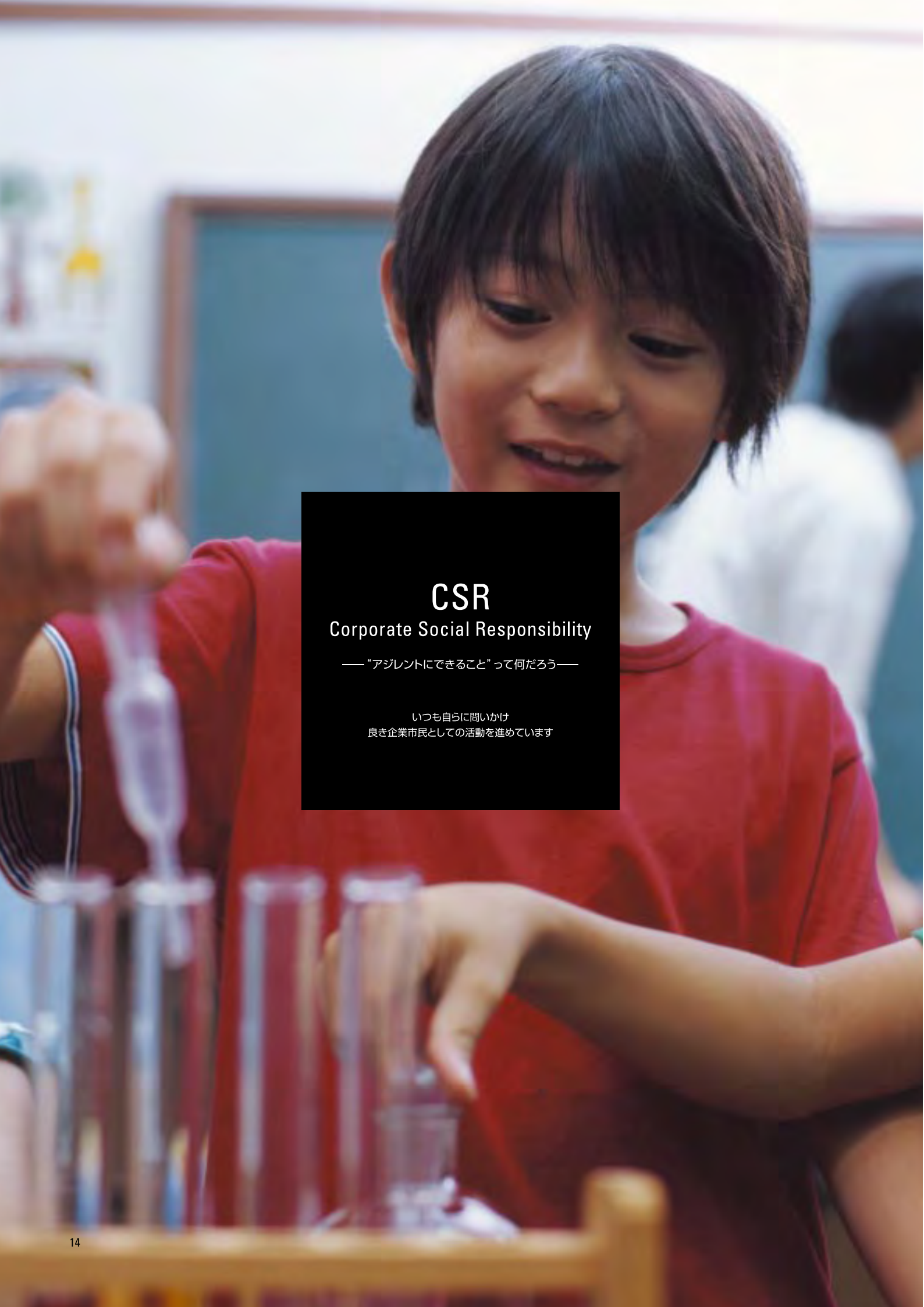
アジレントはあらゆる化学分析に欠かせない基本中の基本ツールであるガスクロマトグラフ、液体クロマトグラフでは世界で圧倒的なシェアを持つほか、四重極型質量分析装置や、日本主導で開発・マーケティング、サポートを展開するICP-MS（誘導結合プラズマ質量分析装置）でも世界シェアNo.1の地位を占めています。

またテクノロジーだけではなく、日本をはじめ各国の規制への対応、保守や予防保全、技術コンサルティングなど多様なお客様へのサポートを通じて、安全で安心できる暮らしを身近なところで支えているのです。

ガスクロマトグラフ（GC）

液体クロマトグラフ質量分析装置（LC/MS/MS）

ICP質量分析装置（ICP-MS）



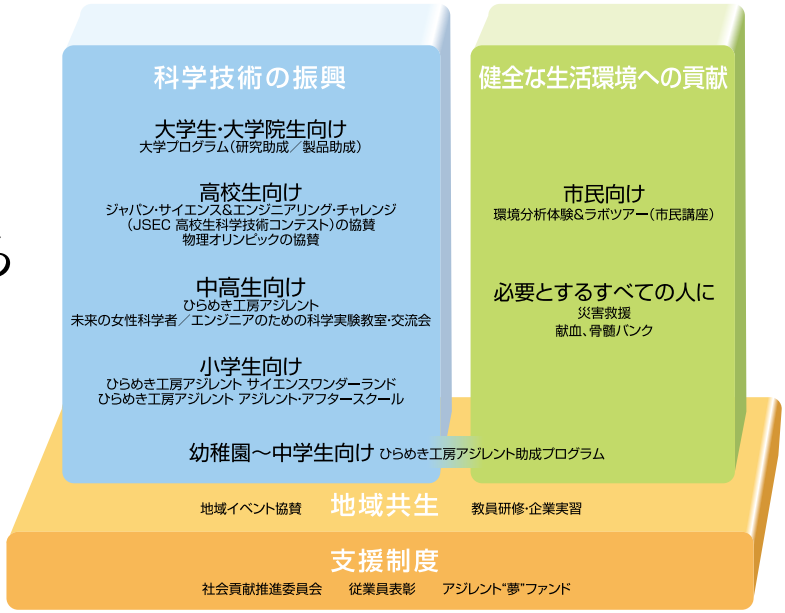
CSR

Corporate Social Responsibility

―― “アジレントにできること” って何だろう――

いつも自らに問いかけ
良き企業市民としての活動を進めています

社会の成長とともに歩んできた企業だから未来の社会への責任も果たしたい



科学技術の振興と健全な生活環境への貢献を目指して

アジレントは、科学技術に立脚した企業として、その進歩の恩恵と、数多くの人々の信頼と支援により、今日では最先端技術をリードする企業に成長することができました。今日私たちが持つ技術や人的資源などの有形・無形の資産は、社会の成長とともに育まれてきたものです。これらの資産を活用して、社会の抱える問題の解決に少しでも貢献していくことはアジレントの社会に対する責任だと考えています。アジレントは多岐にわたる社会貢献活動を展開しています。例えば、アジレントの事業分野と関わりの深い科学教育や科学技術振興への貢献、市民社会や地域社会とアジレントの良好な関係構築、さらには健全な生活環境への貢献などが含まれます。よき企業市民として、積極的な活動を推進してまいります。

科学する心を育み、生活を豊かに

科学技術の振興と豊かな生活環境のために、アジレント特有の有形・無形の資産を社会に還元しています。日本では科学技術教育、理科教育に重点を置いた活動を展開するほか、従業員の社会貢献活動の支援など多様な貢献活動を行っています。

■大学プログラム

大学教育や研究の分野で人材育成や技術向上に貢献すべく、寄付、寄贈、共同研究などを実施しています。特に通信や半導体分野、ライフサイエンスや化学分析の分野における産学協同に積極的に取り組んでいます。

■ひらめき工房アジレント

アジレントでは科学技術の振興や健全な生活環境に貢献する活動を行っていますが、その中心となる活動は、こどもたちの科学や技術への関心・興味を高めるための実験教室や助成プログラムです。科学のすばらしさや驚きをこどもたちに伝え、こどもたちの豊かな発想をさらに高めていきたいとの思いから、「ひらめき工房アジレント」と名づけています。

【助成プログラム】

こどもたちの夢、ひらめき、想像力を育むユニークな活動を実施する非営利団体や学校に助成するプログラムです。これまでに自然保護の体験教室、科学教室、算数・数学の分野で活動する団体を支援してきました。

【サイエンスワンダーランド】

こどもの理科離れが叫ばれるなか、科学のおもしろさや驚きを体験してもらうこども科学実験教室「サイエンスワンダーランド」をNPOと協力しながら、当社の八王子と神戸の2会場で毎年実施しています。従業員ボランティアも積極的に参加しながら、こどもたちに科学の不思議な世界の体験や実際のものづくりへの挑戦を通じて、科学する心の大切さを伝えています。

【アジレント・アフタースクール】

アジレントが提供する20種類のキットを使って、こどものものづくりへの興味、思考力、発想力を高めることを目的とした実験教室です。学校、地域イベント、ボーイ／ガールスカウトなど、さまざまな場所でアジレントの従業員および元従業員がボランティアとして講師を務めます。

【未来の女性科学者／エンジニアのための科学実験教室・交流会】

毎年3月の「未来の女性科学者／エンジニアのための科学実験教室・交流会」など、中高校生向けのラジオ実験教室を開催しています。

■高校生科学技術コンテストの支援

高校生科学技術コンテスト「ジャパン・サイエンス＆エンジニアリング・チャレンジ（JSEC）」の支援により、科学体験や研究発表の機会を提供しています。「ラジオ実験教室」を含め、将来を担う中高校生に科学技術への関心を高めてもらうための活動を推進しています。

■アジレント“夢”ファンド

非営利団体を通じた市民活動支援と従業員のボランティア意識向上のために、従業員からの寄付金総額と同額をアジレントが加えて寄付を行う「アジレント“夢”ファンド」を実施しています。アジレント“夢”ファンドの参加方法の一つとして、給与や賞与からの控除により、自動的に寄付を行うことができる制度も導入しています。アジレント“夢”ファンドによる寄付総額は、年間500万円にのぼります。

従業員の意欲と成果を引き出すアジレントの人事制度

アジレントは、従業員がそれぞれ持っている
性別や国籍、ライフスタイル、身体的能力、経験、技術などの「ちがい」を尊重し、
その可能性を最大限に発揮できる環境をつくり、
多様な視点をとりこんだ、柔軟で創造性に優れた企業を目指します。

上司と部下が目標を共有 自らのイノベーティブなアイデアを形にできるMBO

アジレントでは、MBO（Management by Objective：目標による管理）という手法を全社レベルで採用しています。これは、マネージャは部下が達成すべき目標を設定し、部下の責任を明確にする一方、部下はその目標の達成方法については、一定の裁量の範囲の中で自ら工夫しながら仕事を進めていくやり方です。目標の達成の仕方については柔軟性があることから、自らのイノベーティブなアイデアを積極的に仕事に反映していくことができるのです。

全世界の仕事にチャレンジできる社内公募制度 ～Internal Job Posting～

アジレントでは、従業員のキャリア形成については、「従業員が主体、マネージャはサポート」という考え方を基本としています。この考え方を実現すべく、世界共通の社内公募制度「Internal Job Posting」を導入しています。従業員は世界各国の仕事の中から自分のキャリアにあった仕事にチャレンジすることができるのです。

アジレント・テクノロジー企業データ

※2010 年 2 月 1 日現在

アジレント・テクノロジーズ・インク 概要
（Agilent Technologies, Inc.）

社長兼CEO ウィリアムP（ビル）・サリバン
売 上 高　45億ドル（2009年10月期）
営業開始　1999年11月1日
本　　社　米国カリフォルニア州サンタクララ
　　5301 Stevens Creek Blvd.,
　　Santa Clara, CA 95051
従 業 員　約17,000人（全世界）

アジレント・テクノロジー グループ(日本)概要

カントリー・ジェネラル・マネージャ
　　梅島 正明
営業開始　1999年11月1日
オフィス　国内7ヵ所
従 業 員　約1,000人（グループ2社合計）

※アジレント・テクノロジー グループ（日本）とは、
アジレント・テクノロジー株式会社および
アジレント・テクノロジー・インターナショナル株式会社の2社を指しています。

国内グループ各社 概要

アジレント・テクノロジー株式会社
(Agilent Technologies Japan, Ltd.)

本　　社　東京都八王子市高倉町9番1号
代 表 者　代表取締役社長　梅島 正明
資 本 金　74億4200万円
売 上 高　447億円（2009年10月期）
事業内容　電子計測機器、ライフサイエンス、
　　ラボ用分析機器の販売、サポート

アジレント・テクノロジー・インターナショナル株式会社
(Agilent Technologies International Japan, Ltd.)

本　　社　東京都八王子市高倉町9番1号
代 表 者　代表取締役社長　梅島 正明
資 本 金　4億9900万円
事業内容　電子計測機器、ライフサイエンス、
　　ラボ用分析機器の研究開発・製造等

主要取扱品目

ライフサイエンス・化学分析事業

バイオアナライザ、遺伝子発現解析システム（マイクロアレイ、スキャナ等）、プロテオミクス解析システム、リアルタイム定量PCR システム、ガスクロマトグラフ(GC)、ガスクロマトグラフ質量分析装置（GC/MS）、トリプル四重極GC/MS、液体クロマトグラフ（LC）、液体クロマトグラフ質量分析装置（LC/MS）、キャピラリー電気泳動システム（CE）、ICP 質量分析装置（ICP-MS）、分光光度計、

電子計測事業

オシロスコープ、スペクトラム・アナライザ、シグナル・アナライザ、ロジック・アナライザ、マルチメータ、電源、周波数カウンタ、信号発生器、パルス・パターン発生器、パワーメータ、インピーダンス・アナライザ、LCR メータ、シグナル・ソース・アナライザ、無線通信測定器、光関連測定器、半導体パラメータ・アナライザ、半導体パラメトリック・テストシステム、自動計測システム、テレコム／データコム用測定器、ビット誤り率測定器、オペレーション・サポート・システム（OSS）、高速デジタイザ、データ集録／制御システム、原子間力顕微鏡

本社・八王子事業所

神戸事業所

ＩＳＯ取得状況

認定取得部門	適合規格	認証機関	初回認定書発行日
Agilent Technologies, Inc.（本社・八王子事業所を含む）	ISO14001:2004	ＫＥＭＡ	2001 年 4 月 19 日
Agilent Technologies Electronic Measurements Group	ISO9001:2000	ＫＥＭＡ	2003 年 11 月 18 日
Agilent Technologies, Inc.　Life Science and Chemical Analysis Group	ISO9001:2000	ＫＥＭＡ	1994 年 2 月 1 日

お客様の問題解決に貢献すべく全力で努力いたします

Agilent Technologies , Inc.
社長 兼 CEO
ウィリアムP（ビル）・サリバン

アジレント・テクノロジーは、電子計測およびバイオ・アナリティカル・メジャメントの分野にフォーカスしたハイテク企業です。日本のお客様はエレクトロニクスやコミュニケーションの分野で世界市場を牽引されており、お客様からのご要求は当社にとって欠かせないものとなっております。また、バイオ・アナリティカル・メジャメントの分野においても高品質の製品を幅広く提供していくことをお約束いたします。エレクトロニクスおよびバイオアナリティカル市場におけるあらゆるエンジニア、サービスプロバイダ、科学者にとっての計測ソリューションパートナとして、当社は日本のお客様が抱える問題解決に貢献すべく、全力をあげて努力してまいります。

プレミアな計測ソリューションをお客さま本位のサポートで

アジレント・テクノロジー グループ
カントリー・ジェネラル・マネージャ
海老原　稔

アジレントはこのたび“プレミア・メジャメント・カンパニー”のスローガンを掲げ、計測のエキスパート企業として新たなスタートを迎えることになりました。
エレクトロニクス、コミュニケーション、ライフサイエンス、化学分析の分野で最先端の計測ソリューションとお客様本位のサポートを提供し、よりよきパートナーとして社会の発展とお客様の成功に貢献できる企業となるべく、技術、コンサルティング、サポートの研鑽にこれまで以上に励んでまいります。
今後とも倍旧のご指導とご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

1939
Hewlett-Packard（HP）創業
最初の製品は、ディズニー映画「ファンタジア」に使われたオーディオ発信器

1963
横河・ヒューレット・パッカード設立
日本市場に本格参入

1992.4.1
化学分析機器の研究開発、製造、販売を行なう横河アナリティカルシステムズ（HP：51%、横河電機：49%の合弁企業）の営業を開始

1999.3.2
HPが自社をコンピュータ会社とメジャメント会社の2つに分割する戦略的再編成を発表

1999.11.1
Agilent Technologies／
アジレント・テクノロジーとして営業開始

1999.11.18
Agilent Technologies
ニューヨーク証券取引所に上場

2005.8.15
半導体関連事業を売却・スピンオフし、Agilentはメジャメント事業へフォーカスすることを発表

2006.2.1
Agilent Technologiesが横河アナリティカルシステムズを100%子会社化

2007.2.1
横河アナリティカルシステムズを、アジレント・テクノロジーおよびアジレント・テクノロジー・インターナショナルに統合

http://www.agilent.co.jp/

アジレント・テクノロジー株式会社

アジレント・テクノロジー・インターナショナル株式会社

Agilent Technologies

アジレント・テクノロジー株式会社
本社 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1

このカタログは、100%再生紙および
大豆油インキを使用しています。

March 1, 2008
5989-1164JAJP